健康を保つ取り組みをしよう

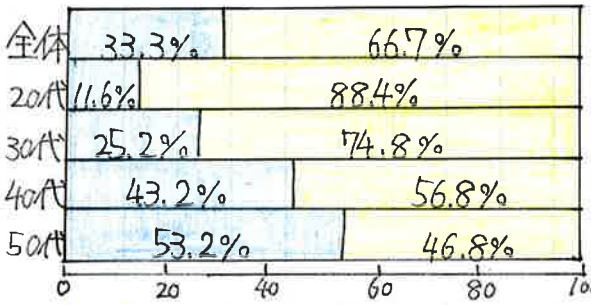
発行者
桂川中学校
2年1組
竹嶋 星空

○日本における健康診断

近代的な健康診断の仕組みは、結核の撲滅という目的のためにスタートしました。また、日本では健診車で巡回するスタイルも一般的になっていますが、これは結核予防を目的とするレントゲン車が始まりとなっています。

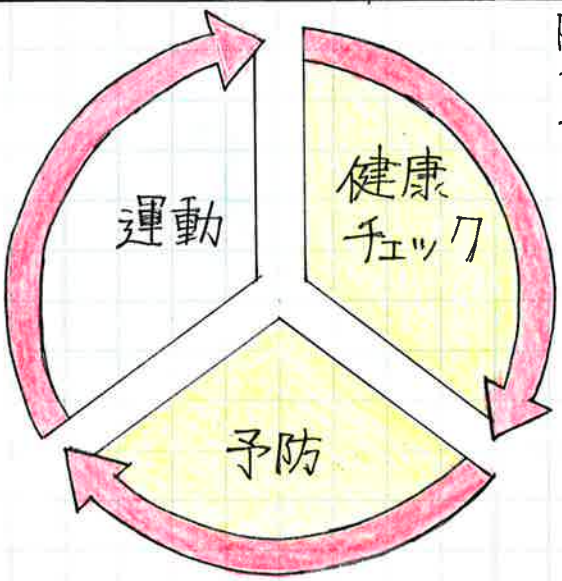
生活習慣の見直し、病気を早期に発見し、早期治療につなげる事が目的の健康診断ですが、すべての人が受診している訳ではありません。上のグラフから分かる通り、定期健康診断を受けた人は全体で33・3%で若い人ほど受診していないというのが日本の現状。なぜこれほどにも受診しない人が多いのかアンケートを取った結果(1)健診の必要性を感じないから。このように考えるのは、「いつも異常なしょなので毎年受ける必要性を感じない」とのこと。

定期的なヘルスチェックを



(2)忙しいから。仕事や家庭の事情で受ける機会を逃してしまう。この2つの理由では、20〜30代が大半でした。(3)近隣に健診できる施設が無い。50代後半に多い理由で、移動手断に困るとのこと。

そして最も多かったのが(4)お金がかかる。20〜50代の全体で上がった理由でした。(4)については、受診する機関や検査項目によって異なりますが、一般健康診断では8、3〜60円。相場7000〜10000円ほどかかるようです。高い所では3〜5万弱。これほど高いお金を出してまで健診をしようと思わない人が多いのでしょう。けれど自分自身が健康べ取り組むことで保険料を安くすることができます。「健康増進型」という健康状態や生活習慣などをチェックし、その割引額の見直しが行われる保険です。



〈感想〉「健康増進型」を紹介しましたが、市町村の住民健診や職場の健診を受ければ、支払う金額をおさえる事ができます。少しづつ普段の生活を見直す事で健診を受けやすくすることが出来るので健康を保つこと、病気を早期発見することで医療費の削減につなげたいです。